

教員用指導案

■ 前回の内容

1. 班テーマ決定
2. リサーチクエスションの考案・掘り下げ（ノート p.12 または 13 が埋まっている状態）

■ 本時の目的

1. 仮説の立て方を学ぶ
2. 班テーマのリサーチクエスションに対する仮説を立てる

■ 事前連絡（担任から生徒へ）

1. 課題研究メソッド・課題研究ノートを持ってくる
2. テーマが確定していない班は、事前に話し合っておく
3. 話し合いのための考資料があるとよい（仮説を立てる上で根拠となる web ページ、書籍 etc…）

■ 当日の配布物・掲示物

- ✓ 班テーマ記入用紙（班で 1 枚 A5 サイズ）

■ 本時の流れ ※各段階で押さえて頂きたい点を✓で示しました。

導入（5分）

1. 机を班の形にする。
2. 本時の内容を説明する。

展開1（10分）仮説について学ぶ

1. 仮説とは何かを学ぶ

- ✓ メソッド p.64 を開かせて仮説の定義・重要性・注意点を順に説明する

定義（メソッド p.64 3-1 仮説とは何か？）

『研究で明らかにしたい”問い”をリサーチクエスションといたしましたね。仮説とは、この問いに対する“答えの予想”をさします。これはあくまでも、答えの見通しですので、研究してみた結果予想に反する結論が出てくることもあります。』

重要性（メソッド p.64 3-2 なぜ仮説を立てるのか？）

『仮説を立てる理由は大きく分けて2つのポイントがあります。一つは、リサーチクエスションのチェック、二つ目は調査や研究の方向付けです。仮説を立てていく過程で、リサーチクエスションに具体性がない、またはそもそも研究テーマに対する理解が不足している…などの不備を見つけることができます。また、答えを予想することで必要な調査や実験方法も見えてきます。』

注意点 (メソッド p.65 3-3 仮説を立てる際に気をつけること)

『これから皆さんに仮説を立ててもらいますが、このページに記載されている3点をかならず守ってください。①仮説にも可能な限り根拠を示そう②その仮説は検証可能か?③複数の仮説を立ててみよう です。最初の「仮説」がこれから1年間の研究活動を左右するといっても過言ではありません。仮説とは、そのくらい重要な位置づけとなっていますので、これらの注意点をよく理解した上で、質の高い仮説設定を目指しましょう。』

2. 仮説の具体例を見ながらイメージを掴む

- ✓ メソッド p.65 「リサーチクエストと仮説」を見せる
- ✓ 同じリサーチクエストに対して異なる2つの仮説を立てていることに注目させる
- ✓ 仮説にはそれを裏付ける根拠が必要なので、その例も読ませる

展開2 (30分) 班ごとに仮説を立てる

1. 班で話し合いをしながら、ノート p.15 を埋める

- ✓ まだテーマを絞り切れていない班は、検討中のすべてのテーマについて仮説を立ててみてから、見込みのあるテーマを一つ選ぶ
- ✓ 仮説を立てる中で、リサーチクエストを改善することができた班は、ノート p.15 の下部にある「仮説をふまえて再設定したリサーチクエスト」に記入する

※ 班によっては、時間が足りないと思いますが、次回の活動⑤も仮説の設定がメインになりますので、じっくり話し合いをさせてください。

まとめ (5分)

1. 次回の予告

- ✓ 仮説設定のつづき、仮説の発表会、(進度が速い班は) 研究計画書に着手

2. 次回までの課題提示

- ✓ 仮説の根拠集め

『本日の活動を通して、仮説を立てるにはある程度の予備知識が必要だと感じたのではないのでしょうか。次回の課題研究では、仮説設定のつづきと研究計画書の作成に入ります。そこで活動を充実させるために、この一週間は「**テーマに関連した情報の収集**」を行っておきましょう。これを次回までの課題としますので、班の中で分担しながら準備を進めてください。』

3. 次回の持ち物

- ✓ 課題研究メソッド、課題研究ノート
- ✓ テーマに関連した資料

■ 備考

担任の先生方は、生徒が提出してきた『班テーマ記入用紙』を hirobaT の excel シートに入力して下さい。お手数おかけいたしますがよろしく願いいたします。